

伝統の赤米刈り取ったぞ

越前市万葉中 1年生110人が汗

みんなで……
読もう

越前市万葉中の生徒が24日、赤米の稲刈りを学校近くの田んぼで行った。1年生110人が額に汗をにじませ、鎌で一束一束丁寧に刈り取った。赤米栽培は1997年か

ら続く同校の伝統行事。同校は万葉集にゆかりのある味真野地区にあることから、古代米の栽培を通して生徒に万葉時代に思いをさせてもらおうと毎年行っている。今年は新型コロナウイルスの感染防止のため、5月上旬の田植えは地元住民のみで行った。学校横の約千平方メートルの田んぼで、生徒たちは汗をぬぐいながら稲を次々と刈り束を運んでいった。小林恭也さん(12)は「自分が収穫した赤米を食べるのが楽しみ」と話していた。稲は天日に干し、もみすりを行う。収穫した赤米はうどんやあべかわ餅に加し、9月の文化祭で事前

田んぼに入り赤米を収穫する万葉中の生徒たち。24日、越前市大手町



に注文した保護者を対象に販売するほか、市内の一部の中学校の給食で提供される。(守長奈生佳)